

NEWS RELEASE

NOHMI
能美防災株式会社

参加者が避難所の開設手順をアプリで学習

中野区で避難所開設支援アプリ N-HOPS トライアルを実施

東京都中野区鷺の杜小学校にて、住民主体の避難所開設作業を支援するアプリ「N-HOPS（エヌ・ホップス）」を活用した実証実験を行いました。



能美防災株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：長谷川雅弘、資本金：133億2百万円、東証プライム市場）は、開発中の「避難所開設・運営支援アプリ N-HOPS（エヌ・ホップス）」を用いて、避難所開設作業の効率化および住民による主体的な開設・訓練の促進を目的とした実証実験を東京都中野区の協力のもと 2025年11月22日に実施しました。中野区では9月のトライアルに続き、2回目のトライアルとなります。

■実証の概要

本実証には、鷺宮4丁目町会の住民を中心に、地域住民や地元企業の方々が参加しました。

参加者は8グループ（各6名程度）に分かれ、N-HOPSに表示されるガイドに沿って、避難所の開錠、施設点検、受付設営、利用スペースの整備など、一連の開設手順を図上で実施しました。

操作説明は最小限でしたが、参加者はすぐにアプリ操作に慣れ、グループごとに主体的に作業を進めていました。

前回（9月）は3グループでの実施でしたが、今回は8グループへと規模を拡大しながら、同様に自走できることを確認しました。





■ 参加者からの声

訓練後の意見交換では、次のような声が寄せられました。

▼ 良かった点

- ・「何をどうしたらよいのか、視覚的にもわかりやすいのでとても良かった」
 - ・「このアプリがあれば避難所での共助がより進むと感じた」
- #### ▼ 改善に向けたご意見
- ・「通信前提のアプリだと、災害時に本当に使えるのか不安」
 - ・「アプリ自体は使いやすいが、災害時に利用できるのか心配」
 - ・「行動の順序など、一部に避難所の実態と異なる部分があった」

■ オフライン機能の搭載

「災害時に実際に使えるのか」といったご意見を多数いただきました。

N-HOPS は Web アプリケーションであり、訓練時にはインストール不要でご利用いただけます。一方、**災害発生時など通信が途絶する状況でも利用可能とするため、オフライン機能を搭載**しています。平時に N-HOPS ヘアクセスし、端末へデータをダウンロードしておくことで、オフライン状態でも行動支援ガイドを閲覧できます。また、バックアップとして**紙での出力**にも対応しています。

■ 避難所ごとのカスタマイズが可能

訓練中には「この行動は実際の避難所とは違うのでは？」といった声が上がる場面がございました。これは、実際の施設図面を見ながら一連の開設行動を試したからこそ得られた気づきであり、従来のマニュアル読み合わせや部分的な訓練では得にくい非常に有意義な意見です。

N-HOPS では、これらの気づきや施設の利用状況の変化に応じて、防災担当職員が**避難所ごとに行動支援ガイドを編集・カスタマイズすることができます**。これにより、周知・差し替えの手間削減、人員交代によって発生する引継ぎやノウハウの確実な継承を行うと共に、常に最新・最適な行動支援ガイドを住民へ提供できます。

■ 2026 年度よりリリース予定

N-HOPS は 2026 年度より本格リリースを予定しており、現在、複数の自治体様から予算申請に向けた実証実験のお問い合わせをいただいています。ご関心のある自治体様はお気軽にお問い合わせください。

■ 本件に関するお問い合わせ

能美防災株式会社 総合企画室

担当：山田、河野

TEL : 03-3265-0218